

EASEC Japan 2015

公開シンポジウム

東アジア鰻資源協議会

の未来

うなぎ

この10年

でウナギの科学は

急速に進歩した。一方、

世界のウナギは近年大きく減少

し、ニホンウナギ、ヨーロッパウナギ、

アメリカウナギ、ボルネオウナギは国際自然保護連

合の絶滅危惧種に、またバイカラウナギ（ビカール種）、

セレベスウナギ、ルソンウナギ、ベンガルウナギは準絶滅危

惧種に指定された。なぜ資源はこんなにも減ってしまったの

か？ どうすれば回復させられるのか？ 果たして、科

学はウナギを救うことができるのか？ 科学の

可能性と限界を議論し、ウナギの保全

と持続的利用を両立させ

る道を探りた

こ。

（東京大学大学院農学生命科学研究科）

黒木 真理

コンピニャー

主催：東アジア鰻資源協議会 日本支部会

共催：東京大学大学院農学生命科学研究科

科学

はウナギを救えるか

東京大学農学部弥生講堂 一条ホール

【アクセス】東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部構内
根津駅 徒歩8分

地下鉄南北線 東大前駅 徒歩1分 / 千代田線

【定員】300名（事前登録不要）

【参加費】無料

2015. 7.19 sun 9:00-16:00